

将来ビジョンのコンセプト

検討中

実現に向けた心得

1. 住む人、訪れる人、働く人の交流を通じて、神戸への愛情を共有できるまち
2. 本物志向、進取の精神といった神戸のアイデンティティに基づいた良質なまち
3. 自然に囲まれた都心のコンパクトさと、個性と文化の多様性を活かしたまち
4. 震災からの復興を経て、更に100年後、200年後の子供たちにも誇れるまち

めざす都心像

人を魅了するクリエイティブな活動と個性あるライフスタイルを実現できる都心

体：健全な都心基盤による靱性

「人」中心の、持続可能で誰もが使いやすい都心交通システムと、災害等にも強い靱性を持ったエネルギー供給システムの確保などに努め、都心活動を支える。

次々と打ち出される戦略的な都市プロモーションにより、神戸の都心が新しいまちに向かって進んでいることを周知する

技：技術革新による継続的成長

技術革新を進め、新たな事業や経済活動を継続的に創出していくため、交流と支援の場を提供する。

心：心地良さが創り出す活気

住む人、訪れる人、働く人が心地良く活気ある営みができるよう神戸らしい心地良さを感じられる佇まいを創り上げる。

交流・滞留

コンパクトな都心の中に魅力ある街並みや拠点が存在するが、山から海への傾斜地にある。
また、開港を契機として、多様な人が住み、訪れる場所である。
山と海を活かした「景観」、傾斜地に対応した「交通」、人種や拠点の多様性に対応した「情報」の相互補完により、ユニバーサルデザイン化された賑わいと憩いの空間を創出し、交流・滞留を促進する。

安心・安全

阪神・淡路大震災を経験し、産・官・学・民が連携して復興を遂げてきたオール神戸としての防災力を土台として有する。
ポスト震災20年を迎える今、災害時においても都心機能を保持し、平時においては環境負荷を低減する「エネルギーシステム」を導入することで、更に都心を強靱化し、安全・安心な都市活動と技術革新の場を提供する。

施策の柱

ビジョンの基盤

将来ビジョンのコンセプト及び実現に向けたアプローチ(案)

◆神戸の都心の将来ビジョン策定の背景

生産年齢人口の減少

東京への一極集中、近畿圏では大阪市への集中

都市施設・インフラの老朽化

都心の求心力低下

＜神戸の都心の「将来ビジョン」策定の目的＞
神戸の都心を**大胆に活性化**することで、**市全体の発展を図る**

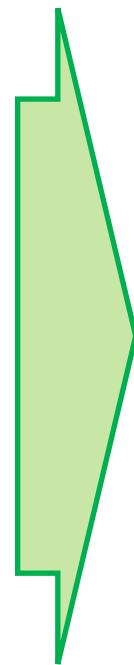
都心の将来ビジョンの方向性

主観的データから見た神戸らしさ、神戸の良さ

歩いて楽しめるまち
独自の景観
個性ある地域・施設
異国文化や新旧文化の共存
培われてきた歴史が息づくまち
パリエーションの豊かさ
寛容性
独自性・独創性
満足度の高い暮らし
落ち着いたある人、モノ、空間
勝ち負けを競わない
ものづくり
本物志向、本物嗜好
民度の高さ
市民の絆

客観的データに基づく都心の方向性

- 1) 新たな成長分野で活躍する産業の振興と新分野への挑戦の支援になる**地域経済の活性化**
- 2) 多彩な観光資源を活用創出し、神戸ならではの**観光を推進**
- 3) 港の機能向上による**国際競争力の強化**
- 4) 特徴を活かした快適な住環境と働く場を確保することによる住みたいまちとして選ばれる**住環境の整備**
- 5) 陸・海・空の交通網による利便性を活用した**拠点づくり**
- 6) 過去の大災害等の経験を教訓とした、災害に対する都市の**防災機能と防災意識の向上**
- 7) **多様な人材や事業者などが「集い、交わり、生きる」まちづくりを進めることで「世界の中の神戸」を確立**
- 8) 人の交流を促進する魅力的な交通環境の形成や、安全で快適な移動環境の整備による**都心全体としてのにぎわい創出**
- 9) 洗練されたまちのイメージの更なる向上を通じた**都市のプロモーション**



具体的施策を検討中